



各位

会社名 株式会社TSIホールディングス
代表者名 代表取締役社長 下地 毅
(東証プライム市場 コード番号 3608)
問合せ先 広報・IR室長 山田 耕平
TEL 03(5785)6400

TCFD 提言への賛同表明及び SBT イニシアチブへコミットメントレター提出のお知らせ

当社は、本日の取締役会にて TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)^{※1}の提言に賛同を表明するとともに、SBT イニシアチブ^{※2}へコミットメントレターを提出することを決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. TCFD 提言への賛同表明

気候変動の取り組みに対する情報開示として、2022年10月にTCFD提言への賛同を表明し、TCFDが推奨している「ガバナンス」、「リスクマネジメント」、「戦略」、「指標と目標」の4つの枠組みに基づいて、当社事業の気候変動に関わる情報を開示します。

2. SBT イニシアチブへコミットメントレター提出

バリューチェーン全体(Scope1・2・3)の温室効果ガス排出量を可視化し、削減目標を設定いたしました。この二酸化炭素排出量の削減目標に対し、パリ協定^{※3}で採択された二酸化炭素の削減目標への整合性を保つため、SBT(Science Based Targets)認定の取得を目指すこととし、SBT イニシアチブ事務局へコミットメントレターを提出します。

当社はサステナビリティ・ステートメントに掲げる「ファッションエンターテインメントでサステナブルな未来をつくる」の実践にむけ、バリューチェーン全体の環境負荷低減に努めています。今回のTCFD提言への賛同を契機に、TCFDの情報開示フレームワークに沿ってステークホルダーの皆さまへより分かりやすく情報開示をお伝えできるよう取り組みます。

※1 「Task Force on Climate-related Financial Disclosures」を略したもの。企業に対し、気候変動が経営に与える財務的影響を評価し、「ガバナンス」、「リスクマネジメント」、「戦略」、「指標と目標」について開示することを推奨。

※2 「Science-based targets」を略したもので、パリ協定が求める世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回り、1.5℃に抑える水準と整合するために企業が算出・設定した温室効果ガス(二酸化炭素)排出量削減目標数値に対して、科学的根拠を精査し、認定する国際的なイニシアチブ。

※3 国連気候変動枠組条約のもと2015年に採択された気候変動に関する国際的な取り決め。「世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」ことが定められている。

以上